

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
設定日	2014年12月12日
信託期間	2014年12月12日～2024年12月5日（約10年）
運用方針	主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、米国の株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、オプションプレミアムの確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。なお、親投資信託であるマネー・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。
主要運用対象	米国リバーサル戦略ツイン α ネオ（毎月分配型） ・コロンビア・USコントラリアン・ファンド ツイン α ネオクラス受益証券を主要投資対象とします。なお、マネー・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。 コロンビア・USコントラリアン・ファンド ツイン α ネオクラス ・米国の株式等を主要投資対象とします。また、スワップ取引を通じて、株価指数オプション取引、通貨オプション取引を活用します。 マネー・マネジメント・マザーファンド ・本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
投資制限	・投資信託証券、短期社債等およびコマーシャル・ペーパー以外の有価証券への直接投資は行いません。 ・投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	毎月5日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 *分配金再投資コースの場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

運用報告書（全体版）

第13作成期

決算日

第73期	2021年1月5日
第74期	2021年2月5日
第75期	2021年3月5日
第76期	2021年4月5日
第77期	2021年5月6日
第78期	2021年6月7日

米国リバーサル戦略ツイン α ネオ （毎月分配型）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「米国リバーサル戦略ツイン α ネオ（毎月分配型）」は、上記の通り決算を行いました。

ここに、第13作成期（第73期～第78期）の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ
コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	投資信託証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 込金	騰落 中率			
	円	円	%	%	%	百万円
第49期（2019年1月7日）	4,243	100	△ 7.1	0.3	96.6	6,252
第50期（2019年2月5日）	4,390	50	4.6	0.3	96.8	6,355
第51期（2019年3月5日）	4,451	50	2.5	0.3	95.7	6,237
第52期（2019年4月5日）	4,505	50	2.3	0.2	97.0	6,027
第53期（2019年5月7日）	4,527	50	1.6	0.4	97.1	5,817
第54期（2019年6月5日）	4,214	50	△ 5.8	0.3	96.8	5,284
第55期（2019年7月5日）	4,325	50	3.8	0.3	97.0	5,244
第56期（2019年8月5日）	4,213	50	△ 1.4	0.4	96.7	4,991
第57期（2019年9月5日）	4,162	50	△ 0.0	0.4	96.6	4,816
第58期（2019年10月7日）	4,134	50	0.5	0.5	97.7	4,617
第59期（2019年11月5日）	4,279	50	4.7	0.3	98.1	4,586
第60期（2019年12月5日）	4,251	50	0.5	0.4	97.9	4,391
第61期（2020年1月6日）	4,304	50	2.4	0.5	97.7	4,276
第62期（2020年2月5日）	4,352	50	2.3	0.5	97.4	4,237
第63期（2020年3月5日）	4,003	50	△ 6.9	0.4	97.0	3,788
第64期（2020年4月6日）	3,214	50	△ 18.5	0.6	96.3	2,969
第65期（2020年5月7日）	3,135	50	△ 0.9	0.7	96.1	2,887
第66期（2020年6月5日）	3,234	50	4.8	0.7	96.1	2,961
第67期（2020年7月6日）	3,236	25	0.8	0.6	96.6	2,937
第68期（2020年8月5日）	3,303	25	2.8	0.5	97.2	2,960
第69期（2020年9月7日）	3,353	25	2.3	0.3	97.8	2,944
第70期（2020年10月5日）	3,261	25	△ 2.0	0.5	97.7	2,844
第71期（2020年11月5日）	3,283	25	1.4	0.5	96.7	2,823
第72期（2020年12月7日）	3,417	50	5.6	0.3	97.2	2,776
第73期（2021年1月5日）	3,394	50	0.8	0.4	96.4	2,728
第74期（2021年2月5日）	3,485	50	4.2	0.4	97.1	2,730
第75期（2021年3月5日）	3,503	50	2.0	0.4	97.5	2,615
第76期（2021年4月5日）	3,635	50	5.2	0.4	97.7	2,619
第77期（2021年5月6日）	3,590	50	0.1	0.5	97.3	2,513
第78期（2021年6月7日）	3,680	25	3.2	0.4	97.2	2,483

*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*基準価額の騰落率は分配金込み

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率		
第73期	(期 首) 2020年12月7日	3,417	—	0.3	97.2
	12月末	3,463	1.3	0.4	96.7
	(期 末) 2021年1月5日	3,444	0.8	0.4	96.4
第74期	(期 首) 2021年1月5日	3,394	—	0.4	96.4
	1月末	3,429	1.0	0.4	97.2
	(期 末) 2021年2月5日	3,535	4.2	0.4	97.1
第75期	(期 首) 2021年2月5日	3,485	—	0.4	97.1
	2月末	3,523	1.1	0.4	97.0
	(期 末) 2021年3月5日	3,553	2.0	0.4	97.5
第76期	(期 首) 2021年3月5日	3,503	—	0.4	97.5
	3月末	3,654	4.3	0.4	96.1
	(期 末) 2021年4月5日	3,685	5.2	0.4	97.7
第77期	(期 首) 2021年4月5日	3,635	—	0.4	97.7
	4月末	3,651	0.4	0.4	95.9
	(期 末) 2021年5月6日	3,640	0.1	0.5	97.3
第78期	(期 首) 2021年5月6日	3,590	—	0.5	97.3
	5月末	3,697	3.0	0.4	97.4
	(期 末) 2021年6月7日	3,705	3.2	0.4	97.2

*騰落率は期首比です。

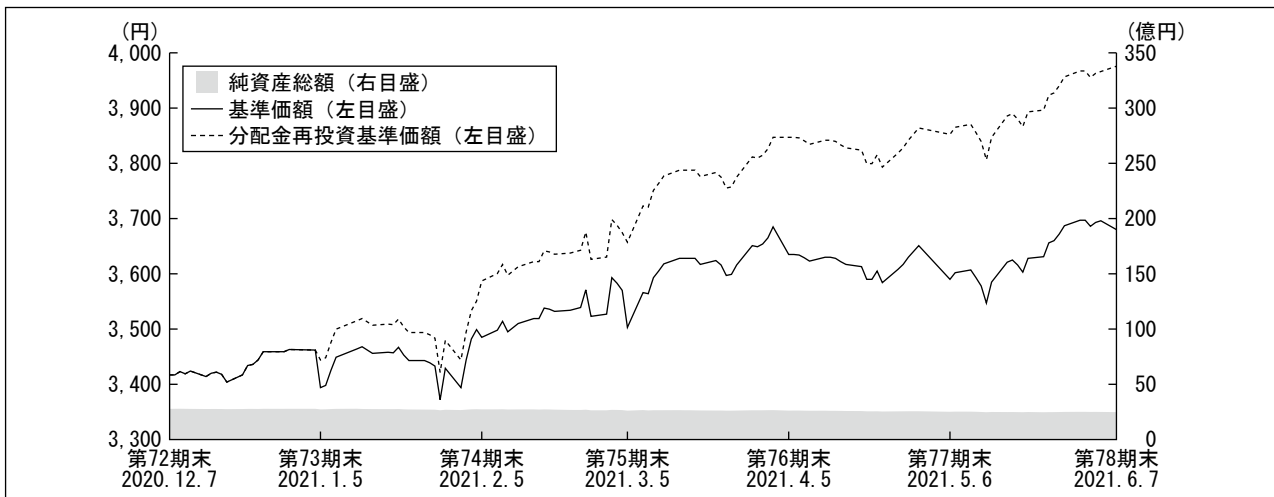
*期末基準価額は分配金込み

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、作成期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第73期首：3,417円

第78期末：3,680円（作成対象期間における期中分配金合計額 275円）

騰落率：+16.4%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、コロンビア・USコントラリアン・ファンド ツインαネオクラスへの投資を通じて、米国の株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組合わせて運用を行いました。

（上昇要因）

個別銘柄では、企業の業務がクラウドへ移行したことや、“在宅勤務”へのシフトから「オフィス365」の需要が高まったことで著しい恩恵を受けた、Microsoft Corporationや、2021年4月の決算発表において、広告事業の好調に加え費用の削減により業績が上振れたAlphabet Inc.、また引当金の戻し入れにより好決算となった、Bank of America Corporationなどの株価の上昇が要因となりました。

加えて、作成期を通じて円安・米ドル高で推移したことも上昇要因となりました。

米国リバーサル戦略ツイン α ネオ（毎月分配型）

（下落要因）

個別銘柄では、IRS（米内国歳入庁）と係争中で120億米ドルの追徴課税が実施される可能性のあるCoca-Cola Companyや、新型コロナウイルス感染症の流行で見切り売りとなった2020年3月の下落からは著しく上昇したものの、当作成期には下落したDollar Tree, Inc.、また、Vertex Pharmaceuticals, Inc.などの株価下落も要因となりました。

株式カバードコール戦略、通貨カバードコール戦略も、マイナスに作用しました。

【投資環境】

新型コロナウイルスのワクチンの緊急使用許可や、ワクチン接種の開始を受けて、当作成期初には楽観的な見方が高まり、米国経済の段階的な再開が作成期末に向けて市場心理を後押ししました。2020年10-12月から始まったリフレ取引（デフレ状態を脱却しインフレにはならない程度の状態を期待した投資行動）や、バリュー株（割安株）志向は、2021年1-3月期にさらに強まり、同四半期にはシクリカル（景気循環）／バリュー株はグロース株（成長株）をアウトパフォームしました。米国の主要株価指数は、安定的とは言えないものの、4月も上昇が継続し、5月もほとんどで上昇しました。

国内短期金融市場では、作成期首 -0.09% 近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、 -0.08% ～ -0.15% 内での動きに終始し、 -0.10% 近辺で作成期末を迎えました。

【ポートフォリオ】

■米国リバーサル戦略ツイン α ネオ（毎月分配型）

主要投資対象であるコロンビア・USコントラリアン・ファンド ツイン α ネオクラスを作成期を通じて高位に組み入れ、作成期末の投資信託証券組入比率は97.2%としました。

■コロンビア・USコントラリアン・ファンド ツイン α ネオクラス

現物株式ポートフォリオは、S&P500指数をアウトパフォームしました。

当作成期における個別銘柄の主な購入事例は以下の通りです。

デュポンの部門買収を経て、シナジー（相乗効果）が現れつつある、International Flavors & Fragrances, Inc.を購入しました。また、注力している嚢胞性線維症の治療法の市場規模が100億米ドルを超えると想定されることに加え、肺、肝臓の疾病向けなどの有望なパイプライン（開発中の新薬群）を有している、Vertex Pharmaceuticals, Inc.を購入しました。さらに、競合激化の懸念が高まっていたものの、最高峰のストリーミング・サービス（オンラインでの配信サービス）により今後数四半期でコンテンツデリバリーネットワーク（大容量の電子媒体の情報を最適に配信するためのネットワーク）事業を加速すると見られる、Akamai Technologies, Inc.を購入しました。

一方、主な売却事例としては、IRSと係争中で120億米ドルの追徴課税実施の可能性が高リスクであることから、Coca-Cola Companyを売り切りました。また、Becton, Dickinson and Companyから経済再開の恩恵を受ける別の銘柄に乗り換えました。さらに、NXP Semiconductors NVを、当ファンドの目標株価に近付いたことや、半導体株は好材料をおおむね織り込んだことから、売り切りました。

また、米国の株式への投資に加え、米国株価指数（原則としてS&P500指数とします。）のコールオプションの売りを行う株式カバードコール戦略および円に対する米ドルのコールオプションの売りを行う通貨カバードコール戦略を活用し、運用を行いました。

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

■マネー・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

【分配金】

分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第73期～第77期の各期において50円、第78期25円とさせて頂きました。（1万円当たり税込み）

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

（1万円当たり・税引前）

項目	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期
	2020年12月8日 ～2021年1月5日	2021年1月6日 ～2021年2月5日	2021年2月6日 ～2021年3月5日	2021年3月6日 ～2021年4月5日	2021年4月6日 ～2021年5月6日	2021年5月7日 ～2021年6月7日
当期分配金 (円)	50	50	50	50	50	25
(対基準価額比率) (%)	1.45	1.41	1.41	1.36	1.37	0.67
当期の収益 (円)	—	0	0	0	0	0
当期の収益以外 (円)	50	49	49	49	49	24
翌期繰越分配対象額 (円)	4,192	4,142	4,092	4,042	3,993	3,968

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

今後の運用方針

■米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

引き続き、運用の基本方針に従い、円建て外国投資信託証券への投資を通じて、米国の株式への投資に加え、「株式カバードコール戦略」および「通貨カバードコール戦略」を組み合わせることで、オプションプレミアムの確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

■コロンビア・USコントラリアン・ファンド ツインαネオクラス

ワクチン接種の加速、経済再開の動き、サプライチェーン（調達・供給網）の改善、日常生活への回帰などが市場の注目点です。経済の面では、①インフレ、それが一時的か持続的か、②雇用情勢が経済回復の妨げとなるかが大きな論点と見えています。当ファンドは市場全般に前向きである一方、依然として景気回復は新型コロナウイルス感染症を完全に制圧できるかどうかにかかっていると見えています。

■マネー・マネジメント・マザーファンド

日本銀行は2021年3月の金融政策決定会合において、より効果的で持続的な金融緩和を実施していくための点検を行いました。現時点で日本銀行によるマイナス金利の深掘りの可能性は低いものの、現行の強力な金融緩和政策を継続することから、市場利回りは当分の間低い水準での推移を予想します。当ファンドでは引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。ファンドの平均残存年限については、2~4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

1万口当りの費用明細

項目	第73期～第78期		項目の概要
	2020年12月8日～2021年6月7日		
	金額	比率	
信託報酬	24円	0.672%	信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 作成期中の平均基準価額は3,570円です。
（投信会社）	（8）	（0.219）	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	（16）	（0.439）	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（0）	（0.014）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	0	0.005	その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	（0）	（0.005）	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	24	0.677	

*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

*作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

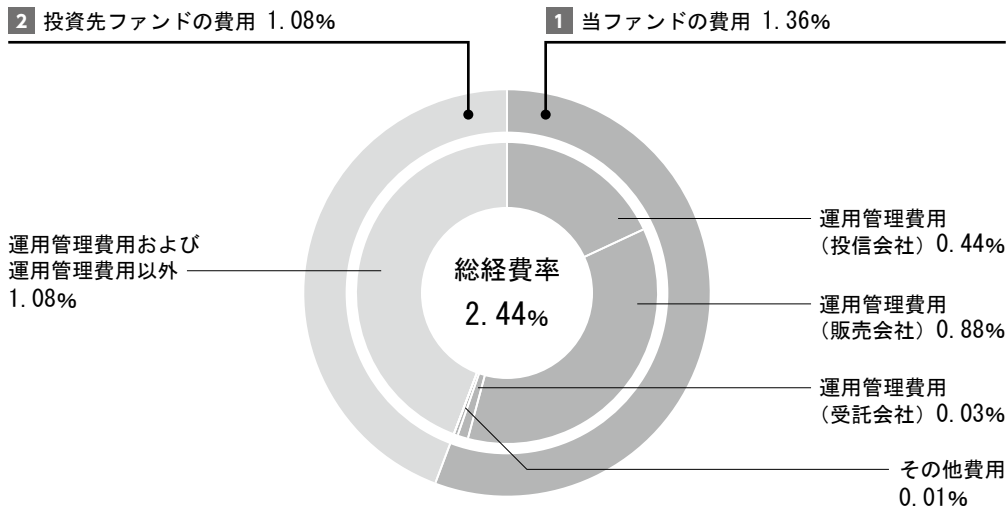
なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

*各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

*各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

米国リバーサル戦略ツイン α ネオ（毎月分配型）

参考情報 総経費率（年率換算）



総経費率 (1 + 2)	2.44%
1 当ファンドの費用の比率	1.36%
2 投資先ファンドの費用の比率	1.08%

- *1の各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
- *2の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているクラスの費用が入手できないため、入手可能なファンド全体のデータをもとに平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。
また、運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できないため、まとめて表示しています。
- *1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
- *上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は2.44%です。

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

売買及び取引の状況

（2020年12月8日から2021年6月7日まで）

■投資信託受益証券

決 算 期		第 73 期 ～ 第 78 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	Columbia US Contrarian Fund Twin Alfa Neo Class	千口 341,755	千円 61,098	千口 4,164,909	千円 766,474

*金額は受渡し代金

利害関係人との取引状況等

（2020年12月8日から2021年6月7日まで）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

2021年6月7日現在

■ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
Columbia US Contrarian Fund Twin Alfa Neo Class	千口 12,060,286	千円 2,413,263	% 97.2
合 計	12,060,286	2,413,263	97.2

*比率は、純資産総額に対する評価額の割合

■親投資信託残高

	第 72 期 末	第 78 期 末
	口 数	口 数
マネー・マネジメント・マザーファンド	千口 16,364	千口 16,364
		評 価 額
		千円 16,320

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

<補足情報>

マネー・マネジメント・マザーファンドにおける組入資産の明細

下記は、マネー・マネジメント・マザーファンド全体（27,446千口）の内容です。

■ 公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	2021年6月7日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除く金融債券)	17,000 (17,000)	17,045 (17,045)	62.3 (62.3)	— (—)	— (—)	— (—)	62.3 (62.3)
合 計	17,000 (17,000)	17,045 (17,045)	62.3 (62.3)	— (—)	— (—)	— (—)	62.3 (62.3)

* () 内は、非上場債で内書き

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

銘 柄	2021年6月7日現在				
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
(特殊債券（除く金融債券）)	%	千円	千円		
137 政保道路機構	1.2000	5,000	5,003	2021/06/30	
11 政保政策投資C	1.0000	5,000	5,012	2021/09/14	
145 政保道路機構	1.0000	2,000	2,006	2021/09/30	
149 政保道路機構	1.0000	5,000	5,023	2021/11/30	
合 計	—	17,000	17,045	—	

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

投資信託財産の構成

2021年6月7日現在

項 目	第 78 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	2,413,263	95.9
マネー・マネジメント・マザーファンド	16,320	0.6
コール・ローン等、その他	86,155	3.5
投 資 信 託 財 産 総 額	2,515,739	100.0

資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	(2021年1月5日)	(2021年2月5日)	(2021年3月5日)	(2021年4月5日)	(2021年5月6日)	(2021年6月7日) 現在
	第 73 期 末	第 74 期 末	第 75 期 末	第 76 期 末	第 77 期 末	第 78 期 末
(A) 資 産	2,771,578,942円	2,778,584,514円	2,659,897,188円	2,675,557,830円	2,574,373,666円	2,515,739,562円
コール・ローン等	126,176,992	106,421,686	89,181,997	90,756,812	113,613,038	75,789,430
投資信託受益証券(評価額)	2,629,081,201	2,650,584,800	2,549,840,133	2,558,758,318	2,444,439,879	2,413,263,427
マネー・マネジメント・マザーファンド(評価額)	16,320,749	16,320,749	16,322,386	16,320,749	16,320,749	16,320,749
未 収 入 金	—	5,257,279	4,552,672	9,721,951	—	10,365,956
(B) 負 債	43,182,813	47,705,223	44,838,407	55,597,103	61,222,960	31,955,773
未 払 収 益 分 配 金	40,190,369	39,183,400	37,327,916	36,040,803	35,004,563	16,874,022
未 払 解 約 金	—	5,344,907	4,648,622	16,440,933	23,153,260	11,992,635
未 払 信 託 報 酬	2,969,433	3,129,651	2,792,960	3,023,028	2,949,940	2,951,045
そ の 他 未 払 費 用	23,011	47,265	68,909	92,339	115,197	138,071
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	2,728,396,129	2,730,879,291	2,615,058,781	2,619,960,727	2,513,150,706	2,483,783,789
元 本	8,038,073,947	7,836,680,178	7,465,583,228	7,208,160,784	7,000,912,618	6,749,608,879
次 期 繰 越 損 益 金	△5,309,677,818	△5,105,800,887	△4,850,524,447	△4,588,200,057	△4,487,761,912	△4,265,825,090
(D) 受 益 権 総 口 数	8,038,073,947口	7,836,680,178口	7,465,583,228口	7,208,160,784口	7,000,912,618口	6,749,608,879口
1万口当り基準価額(C/D)	3,394円	3,485円	3,503円	3,635円	3,590円	3,680円

*元本状況

期首元本額	8,126,071,965円	8,038,073,947円	7,836,680,178円	7,465,583,228円	7,208,160,784円	7,000,912,618円
期中追加設定元本額	19,986,861円	22,011,960円	20,307,607円	43,224,807円	17,400,987円	17,890,458円
期中一部解約元本額	107,984,879円	223,405,729円	391,404,557円	300,647,251円	224,649,153円	269,194,197円
*元本の欠損	5,309,677,818円	5,105,800,887円	4,850,524,447円	4,588,200,057円	4,487,761,912円	4,265,825,090円

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

損益の状況

	自2020年12月8日 至2021年1月5日	自2021年1月6日 至2021年2月5日	自2021年2月6日 至2021年3月5日	自2021年3月6日 至2021年4月5日	自2021年4月6日 至2021年5月6日	自2021年5月7日 至2021年6月7日
項 目	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期	第 78 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 3,974円	△ 2,777円	△ 2,746円	△ 1,841円	△ 1,675円	△ 2,156円
受 取 利 息	14	601	125	156	20	77
支 払 利 息	△ 3,988	△ 3,378	△ 2,871	△ 1,997	△ 1,695	△ 2,233
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	24,928,376	113,022,439	53,369,863	133,687,455	6,345,534	80,502,190
売 買 益	25,064,817	114,438,782	55,085,556	136,789,074	6,800,011	81,279,914
売 買 損	△ 136,441	△ 1,416,343	△ 1,715,693	△ 3,101,619	△ 454,477	△ 777,724
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,992,444	△ 3,153,905	△ 2,814,604	△ 3,046,458	△ 2,972,798	△ 2,973,919
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	21,931,958	109,865,757	50,552,513	130,639,156	3,371,061	77,526,115
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△3,743,177,275	△3,657,006,899	△3,407,342,036	△3,257,702,336	△3,064,588,534	△2,977,268,394
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△1,548,242,132	△1,519,476,345	△1,456,407,008	△1,425,096,074	△1,391,539,876	△1,349,208,789
(配 当 等 相 当 額)	(1,129,935,863)	(1,107,601,188)	(1,060,454,989)	(1,035,162,134)	(1,009,804,493)	(977,957,499)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,678,177,995)	(△2,627,077,533)	(△2,516,861,997)	(△2,460,258,208)	(△2,401,344,369)	(△2,327,166,288)
(G) 計 (D+E+F)	△5,269,487,449	△5,066,617,487	△4,813,196,531	△4,552,159,254	△4,452,757,349	△4,248,951,068
(H) 収 益 分 配 金	△ 40,190,369	△ 39,183,400	△ 37,327,916	△ 36,040,803	△ 35,004,563	△ 16,874,022
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△5,309,677,818	△5,105,800,887	△4,850,524,447	△4,588,200,057	△4,487,761,912	△4,265,825,090
追 加 信 託 差 損 益 金	△1,548,242,132	△1,519,476,345	△1,456,407,008	△1,425,096,074	△1,391,539,876	△1,349,208,789
(配 当 等 相 当 額)	(1,129,935,866)	(1,107,601,193)	(1,060,454,994)	(1,035,162,148)	(1,009,804,498)	(977,957,503)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,678,177,998)	(△2,627,077,538)	(△2,516,862,002)	(△2,460,258,222)	(△2,401,344,374)	(△2,327,166,292)
分 配 準 備 積 立 金	2,239,722,623	2,138,605,462	1,994,972,585	1,879,074,271	1,785,797,166	1,700,611,813
繰 越 損 益 金	△6,001,158,309	△5,724,930,004	△5,389,090,024	△5,042,178,254	△4,882,019,202	△4,617,228,114

*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

*信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

<分配金の計算過程>

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

決 算 期	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期	第 78 期
(A) 配 当 等 収 益 (費用控除後)	3,932円	6,678円	6,008円	7,956円	4,580円	7,937円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収 益 調 整 金	1,129,935,866	1,107,601,193	1,060,454,994	1,035,162,148	1,009,804,498	977,957,503
(D) 分 配 準 備 積 立 金	2,279,909,060	2,177,782,184	2,032,294,493	1,915,107,118	1,820,797,149	1,717,477,898
分 配 可 能 額 (A+B+C+D)	3,409,848,858	3,285,390,055	3,092,755,495	2,950,277,222	2,830,606,227	2,695,443,338
(1 万 口 当 り 分 配 可 能 額)	(4,242.12)	(4,192.32)	(4,142.68)	(4,092.97)	(4,043.2)	(3,993.48)
収 益 分 配 金	40,190,369	39,183,400	37,327,916	36,040,803	35,004,563	16,874,022
(1 万 口 当 り 収 益 分 配 金)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	(25)

米国リバーサル戦略ツイン α ネオ（毎月分配型）

分配金のお知らせ

決算期	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期	第 78 期
1 万口当たり分配金(税込み)	50円	50円	50円	50円	50円	25円

■分配金のお支払いについて

分配金のお支払いは各決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

■課税上のお取扱いについて

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。

※法人の受益者の場合、税率が異なります。

※外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※課税上のお取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

参考情報

■投資対象とする投資信託証券の概要

ファンド名	Columbia US Contrarian Fund Twin Alfa Neo Class
基本的性格	ケイマン籍／外国投資信託受益証券／円建て
運用目的	主に米国の金融商品取引所に上場する株式等に投資します（不動産投資信託証券やETF等に投資する場合があります。）。 また、スワップ取引を通じて、実質的に米国株価指数のコールオプションの売りと円に対する米ドルのコールオプションの売りを行うことで、中長期的な信託財産の成長を目指します。
主要投資対象	米国の株式等を主要投資対象とします。また、スワップ取引を通じて、株価指数オプション取引、通貨オプション取引を活用します。
投資方針	<p>1. 主として米国の株式等に投資しつつ、株価指数と通貨のカバードコール戦略を組み合わせることで、中長期的な信託財産の成長を目指します。</p> <p><米国株リバーサル投資戦略></p> <ul style="list-style-type: none"> 株式等の投資にあたっては、厳格なファンダメンタルズ分析および株価水準を考慮した逆張り戦略により、安定した超過収益の獲得を目指します。 株式等の運用は、コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーが行います。 <p><株式カバードコール戦略></p> <ul style="list-style-type: none"> 株式カバードコール戦略は、米国株価指数（原則S & P 500指数）にかかるコールオプションの売りを行うことでオプションプレミアムの確保を目指す戦略です。 株式カバードコール戦略は、投資環境によっては、保有する米ドル建て資産の評価額の約50%程度または約100%程度のコールオプションの売りを行います。カバー率の変更にあたっては、UBS株式リスク指標を活用します。 <p><通貨カバードコール戦略></p> <ul style="list-style-type: none"> 通貨カバードコール戦略は、円に対する米ドルのコールオプションの売りを行うことでオプションプレミアムの確保を目指す戦略です。 通貨カバードコール戦略は、原則として保有する米ドル建て資産の評価額の50%程度のコールオプションの売りを行います。 <p>※カバードコール戦略では、原則として、権利行使が満期日のみに限定されているオプションを利用することを基本とします。</p> <p>※カバードコール戦略については、UBS AG ロンドン支店をカウンターパーティとするスワップ取引を通じて当該戦略を行った場合の投資成果を享受します。</p> <p>2. 資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。</p>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 株式等への投資割合には、制限を設けません。 同一銘柄の株式等への投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の10%以内とします。 デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。
収益の分配	原則毎月行います。
申込手数料	ありません。
管理報酬 その他費用	<p>管理報酬等：年0.64%</p> <p>上記の他、信託財産にかかる租税、組入有価証券の売買時にかかる費用、受託会社の費用、管理事務費用、名義書換事務代行費用、組入有価証券等の保管に関する費用、設立費用、弁護士費用、財務諸表の監査にかかる費用や信託財産の事務に関する費用等はファンドの信託財産から負担されます。</p> <p>上記の報酬等は将来変更される場合があります。</p>
主な関係法人	<p>管理会社：ランタン・ストラクチャード・アセット・マネジメント・リミテッド</p> <p>投資顧問会社：コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー</p>

※上記の内容は、今後変更になる場合があります。

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

■投資対象とする投資信託証券の資産の状況

当ファンドの運用報告書作成時点において、入手可能な直前計算期間のColumbia US Contrarian Fundの情報を委託会社が抜粋・翻訳したものを記載しております。

財政状態計算書

	2020年9月30日現在 (単位：日本円)	2019年9月30日現在 (単位：日本円)
資産		
流動資産		
公正価値で測定する金融資産	4,120,193,204	5,190,134,208
現金及び現金同等物	327,334,985	510,662,045
未収入金（受益者）	28,169,327	28,821
未収入金（証券会社）	457,436	5,263,416
未収配当金	3,116,057	3,581,490
資産 計	4,479,271,009	5,709,669,980
負債		
流動負債		
公正価値で測定する金融負債	22,807,246	5,072,633
未払金（受益者）	31,354,319	12,630,546
未払金（証券会社）	10,481,968	5,801,022
未払費用	7,133,895	8,384,598
負債 計（受益者に帰属する純資産を除く）	71,777,428	31,888,799
受益者に帰属する純資産（設立費用調整前）	4,407,493,581	5,677,781,181
元本：		
受益者に帰属する純資産（設立費用調整後）	4,408,003,629	5,678,808,021
設立費用調整額	510,048	1,026,840

米国リバーサル戦略ツインαネオ（毎月分配型）

包括利益計算書 2020年9月30日に終了した年度

	2020年9月30日に 終了した決算期 (単位：日本円)	2019年9月30日に 終了した決算期 (単位：日本円)
収益		
受取配当金	78,065,614	121,342,750
受取利息	562,189	4,186,076
外国為替の損失	(9,922,278)	(20,047,649)
金融資産負債に係る公正価値の変動	(167,521,694)	(409,751,670)
損失 計	(98,816,169)	(304,270,493)
費用		
受託会社報酬及び管理会社費用	2,156,182	2,182,255
副管理会社費用	12,741,110	12,922,663
カストディーフィー	4,511,870	5,591,369
投資運用報酬	19,318,010	27,012,033
運用報酬	3,946,482	5,801,615
取引費用	2,076,392	2,935,378
スワップ関連費用	4,890,614	8,164,217
コラテラル・エージェント・フィー	513,196	510,701
その他費用	2,793,209	3,296,136
費用 計	52,947,065	68,416,367
営業損失	(151,763,234)	(372,686,860)
金融費用		
受益者への分配金	—	(3,021,224,458)
税引き前損失	(151,763,234)	(3,393,911,318)
源泉税	(20,942,719)	(32,371,019)
受益者に帰属する純資産の減少（設立費用調整前）	(172,705,953)	(3,426,282,337)
設立費用調整額	(516,792)	(1,686,996)
受益者に帰属する純資産の減少（設立費用調整後）	(173,222,745)	(3,427,969,333)

【組入上位銘柄】

	銘柄名	業種名	比率
1	Apple Inc.	情報技術	6.6%
2	Microsoft Corporation	情報技術	5.8%
3	Amazon.com, Inc.	一般消費財・サービス	5.2%
4	Berkshire Hathaway Inc. Class B	金融	3.3%
5	Comcast Corporation Class A	コミュニケーション・サービス	3.0%
6	Mastercard Incorporated Class A	情報技術	2.3%
7	Facebook, Inc. Class A	コミュニケーション・サービス	2.2%
8	Johnson & Johnson	ヘルスケア	2.2%
9	Medtronic Plc	ヘルスケア	2.2%
10	Lowe's Companies, Inc.	一般消費財・サービス	2.1%

(組入銘柄数 77銘柄)

※ 組入上位銘柄はコロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーから提供された2020年9月末基準のデータに基づき作成しております。

※ Columbia US Contrarian Fundの組入株式等の時価評価額合計に対する比率です。

※ 業種名は世界産業分類基準（GICS）です。

マネー・マネジメント・マザーファンド

運用報告書

決算日：2020年7月27日

(第7期：2019年7月26日～2020年7月27日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none">・ 株式への投資は行いません。・ 外貨建資産への投資は行いません。・ デリバティブ取引（有価証券先物取引等、スワップ取引、金利先渡取引をいいます。）の利用はヘッジ目的に限定しません。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		公社債 組入比率	純資産額
		騰落	中率		
第3期 (2016年7月25日)	円 10,011		% 0.0	% 69.6	百万円 59
第4期 (2017年7月25日)	10,000		△0.1	79.3	49
第5期 (2018年7月25日)	9,995		△0.1	83.5	49
第6期 (2019年7月25日)	9,988		△0.1	86.0	37
第7期 (2020年7月27日)	9,979		△0.1	88.0	27

*当ファンドは、安定した収益の確保を図ることを目的とした運用を行っているため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準	価額		公社債 組入比率	債率
		騰落	率		
(期首) 2019年7月25日	円 9,988		% -		% 86.0
7月末	9,988		0.0		75.3
8月末	9,989		0.0		75.4
9月末	9,989		0.0		81.7
10月末	9,985		△0.0		58.3
11月末	9,984		△0.0		59.5
12月末	9,983		△0.1		76.0
2020年1月末	9,983		△0.1		76.0
2月末	9,984		△0.0		61.0
3月末	9,980		△0.1		72.8
4月末	9,981		△0.1		72.8
5月末	9,980		△0.1		59.4
6月末	9,980		△0.1		64.9
(期末) 2020年7月27日	9,979		△0.1		88.0

*騰落率は期首比です。

運用経過

【基準価額等の推移】

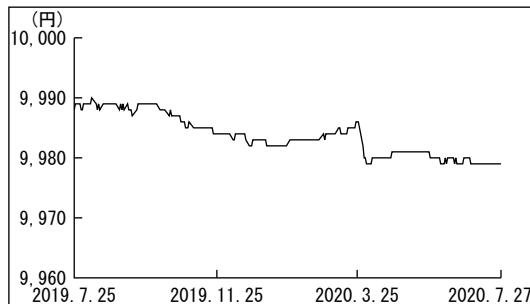
期首：9,988円
期末：9,979円
騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

(下落要因)

日本銀行のマイナス金利政策導入を背景とした無担保コールレートのマイナス化などが要因となりました。

基準価額の推移



【投資環境】

国内短期金融市場では、期初-0.13%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、2019年10月以降、海外投資家の短期の国債への需要の高まりを受けて、一時-0.4%近辺まで低下した後、-0.10%~-0.20%の狭いレンジで推移しました。2020年2月末以降は、年度越え要因に絡む海外投資家の短期の国債への需要の高まりや年度末を控えた担保需要の高まり等を受けて、-0.45%近辺まで低下しました。その後、期末にかけてマイナス幅を大きく縮小し、-0.09%近辺で期末を迎えました。

【ポートフォリオ】

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

今後の運用方針

新型コロナウイルス感染症への懸念拡大に伴う金融情勢を踏まえて、日本銀行は2020年4月の金融政策決定会合において金融緩和の強化を行ったものの、政策金利引き下げは見送りました。しかし世界の主要中央銀行は相次いで緊急利下げや量的緩和政策の導入に踏み切ったことや、日本銀行も国債のさらなる積極的な買い入れを明示したことから、市場利回りは当分の間低い水準での推移を予想します。当ファンドでは引き続き安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。ファンドの平均残存年限については2~4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2019年7月26日～2020年7月27日		
	金額	比率	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	0	0.000	
期中の平均基準価額は9,984円です。			

*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*円未満は四捨五入しています。

売買及び取引の状況

(2019年7月26日から2020年7月27日まで)

■公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国	内 特殊債券	34,246	— (42,000)

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

*（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

主要な売買銘柄

(2019年7月26日から2020年7月27日まで)

■公社債

		当期	
		買付額	売付額
銘柄	柄	金額	柄
		千円	千円
135	政保道路機構	7,079	—
115	政保道路機構	7,032	—
122	政保道路機構	5,045	—
107	政保道路機構	5,034	—
18	政保地方公共団	5,032	—
110	政保道路機構	5,020	—

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

利害関係人との取引状況等

(2019年7月26日から2020年7月27日まで)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

2020年7月27日現在

■ 公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当		期		末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
特 殊 債 券 (除く金融債券)	千円 24,000 (24,000)	千円 24,102 (24,102)	% 88.0 (88.0)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 88.0 (88.0)
合 計	24,000 (24,000)	24,102 (24,102)	88.0 (88.0)	— (—)	— (—)	— (—)	88.0 (88.0)

* () 内は、非上場債で内書き

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

銘 柄	当		期		末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
(特殊債券 (除く金融債券))	%	千円	千円		
115 政保道路機構	1.0000	7,000	7,006	2020/08/31	
18政保地方公共団	0.9000	5,000	5,013	2020/11/17	
122 政保道路機構	0.9000	5,000	5,015	2020/11/30	
135 政保道路機構	1.1000	7,000	7,066	2021/05/31	
合 計	—	24,000	24,102	—	

投資信託財産の構成

2020年7月27日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	24,102	88.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,273	12.0
投 資 信 託 財 産 総 額	27,376	100.0

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年7月27日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	27,376,279円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	3,226,508
公 社 債(評価額)	24,102,892
未 収 利 息	46,879
(B) 純 資 産 総 額(A)	27,376,279
元 本	27,434,637
次 期 繰 越 損 益 金	△ 58,358
(C) 受 益 権 総 口 数	27,434,637口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(B/C)	9,979円

*元本状況

期首元本額	37,373,870円
期中追加設定元本額	5,211,802円
期中一部解約元本額	15,151,035円

*元本の内訳

タフ・アメリカ (マネーボールファンド)	7,907,007円
米国小型株ツインα (毎月分配型)	552,681円
米国小型株ツインα (資産成長型)	71,698円
日本株アルファ・カルテット (毎月分配型)	1,998,801円
米国リバーサル戦略ツインαネオ (毎月分配型)	16,364,935円
米国リート厳選ファンド (毎月決算型)	249,776円
米国リート厳選ファンド (資産成長型)	249,776円
NBマルチ戦略ファンド	9,989円
日本株アルファ・カルテット (年2回決算型)	9,990円
大和住銀/コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Aコース (ダイワ投資一任専用)	9,992円
大和住銀/コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド Bコース (ダイワ投資一任専用)	9,992円

*元本の欠損

58,358円

損益の状況

自2019年7月26日
至2020年7月27日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	225,302円
受 取 利 息	232,272
支 払 利 息	△ 6,970
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△260,308
売 買 損 益	△260,308
(C) そ の 他 費 用	△ 135
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 35,141
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 43,278
(F) 解 約 差 損 益 金	28,145
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 8,084
(H) 計 (D+E+F+G)	△ 58,358
次 期 繰 越 損 益 金(H)	△ 58,358

*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

*解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。